



第2次

深谷市地域福祉計画
深谷市地域福祉活動計画

平成27年度 ▶ 平成31年度
(2015) (2019)

一人ひとりのまごころと思いやりで
地域に笑顔とまがずながあふれるまち 深谷



一人ひとりのまごころと思いやりで 地域に笑顔ときずながあふれるまち ぶかや



近年、少子高齢化や核家族化、価値観や生活様式の多様化など、社会環境の変化により、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進むなど、地域福祉を取り巻く環境は大きく変わってきています。

また、頻繁に発生する地震や火山の噴火、豪雨、豪雪などに伴う大規模な自然災害により、多大な犠牲と混乱が生じていることから、私たちは、これらの災害から得た教訓と経験を日常における地域福祉活動の推進に生かしていくことが求められています。

これらの課題に対応するためには、行政の力だけではなく、地域に住む市民同士の助け合い・支え合いという、地域の力が重要です。人と人とのつながりが希薄化していると言われる中、私たちは、もう一度、地域のつながりのあり方について考え、地域福祉を推進していく必要があります。

本市では、深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画を平成22年3月に策定し、地域福祉の推進に取り組んでまいりましたが、計画期間満了となるため、新たな環境の変化や課題に対応する、第2次計画を策定いたしました。

本計画は、今後の本市の福祉行政全般にかかる基本的指針であり、本市を生誕の地とする渋沢栄一翁が生涯の規範とした「忠恕のこころ」すなわち「まごころと思いやり」を市民全員が実践していくことこそが重要であるという考えから、基本理念を「一人ひとりのまごころと思いやりで 地域に笑顔ときずながあふれるまち ぶかや」とし、その実現を目指すものです。

今後、地域福祉を推進していくためには、市民の皆様方の地域福祉活動への主体的な参加が不可欠となりますので、積極的な関わりを期待しております。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、本計画策定委員の皆様、関係機関・団体の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも本計画の推進に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

深谷市長・深谷市社会福祉協議会会長 小島 進

目次

第1章 この計画ってどんなもの？ 1

1. “地域福祉”とは..... 1
2. 計画の目的..... 5
3. 計画の位置づけ 6
4. 計画の期間..... 8
5. 計画の策定体制 8

第2章 深谷市ってどんなまち？ 10

1. 人口や世帯などの状況 10
2. 支援を必要とする人の状況 13
3. 地域の状況 18
4. 地域活動などの状況 22
5. 第1次計画の進捗評価 25
6. 主な地域課題 29

第3章 この計画で私たちが目指すもの 30

1. 私たちが大事にする理念 30
2. 私たちが目指す目標 31
3. 計画の体系 32

第4章 この計画で私たちが取り組むこと 33

- 重点施策 34
- 目標1 ふれあい・交流が盛んな地域をつくる 35
 - 目標2 SOSに応えるしくみをつくる 45
 - 目標3 サービスが利用しやすい環境をつくる 53
 - 目標4 地域福祉を推進するしくみをつくる 60

第5章 この計画の進め方 73

1. 協働によりこの計画を進めます 73
2. この計画を周知・普及させます 74
3. この計画を点検・評価します 75
4. 個人情報を適正に取り扱います 76

資料編 77

1. 計画の策定経過 77
2. 深谷市地域福祉計画策定委員会・深谷市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱 78
3. 深谷市地域福祉計画策定委員会・深谷市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿 82
4. 用語集 83

※ 資料編の用語集に掲載してある用語については、本文中の初出のか所に、
* 印をつけています。